

第12期生

基本編

# 生産技術マン養成講座

設計から製造に至るプロセスをスルーで見て改善するための基礎を学ぶ

2026年 **5**月 **28**日(木)開講

時 間 10:00~17:00

会 場 中産連ビル 研修室 (名古屋市東区白壁 3-12-13)

定 員 16名

# 設計から製造に至るプロセスをスルーで見て改善するための基礎を学ぶ5日間のプログラムです。

## こんな問題で困っていませんか？

- 設計（図面）に対して、つくり易さの観点から意見が言えず、生産現場で不良の発生や工数がかかっている
- 生産準備段階で安全・品質・生産性を加味したライン設計ができず、立ち上げ後に改善の工数や費用がかかってしまう。
- 現場での問題点をくみ上げ、工程や設備設計に繋がられる仕組みが無く、人材も育っていない



商品ライフサイクルや事業の短命化により、海外や国内における新ラインの立上げ、更新が頻繁に行われる様になり、変化への対応とコストダウンが求められる経営環境の中で、生産技術者の果たす役割がますます重要となっています。今後の日本企業が競争優位を高めていく為には、現場と設計の橋渡しをする生産技術マンがQCDを満たす効果的なプロセスをスルーで見て設計できることが非常に重要となります。

point 1

効率的な生産プロセスを設計するために  
必要な生産技術の基礎知識の習得

point 2

座学だけでなく、  
実践型演習を通して理解を深める



## カリキュラム

第1単元 生産技術の役割 図面の見方・工程の書き方	第2単元 生産プロセスの考え方 (つくり易さ設計・工場レイアウト)	第3単元 生産準備の考え方 工程設計（設備レイアウト）	第4単元 設備設計 現場の工数低減に繋がる設備	第5単元 自社のラインを考える — 儲かる工場 —
<p>生産技術とは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産技術の位置づけ</li> <li>・ 生産技術の対象領域</li> </ul> <p>演習 I</p> <p>図面の見方・書き方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 投影法 ・ 断面法 ・ 寸法記入</li> </ul> <p>演習 II</p> <p>工程図の書き方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工程図の位置づけ</li> <li>・ 工程図の考え方</li> </ul> <p>演習 III</p>	<p>生産プロセスの考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自社工場に合ったものつくり検討</li> <li>・ 検討のポイント</li> <li>・ 事前準備・検討項目</li> </ul> <p>つくり易さ設計</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ つくり易さからのコスト削減の考え方</li> <li>・ 事例</li> </ul> <p>演習 I</p> <p>工程レイアウト(物流)の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産プロセス設計手順</li> <li>・ 工場形態でのレイアウト検討</li> <li>・ 製品の流れに準じたレイアウト</li> </ul> <p>演習 II 工場レイアウト作成</p>	<p>生産準備の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産準備業務の概要</li> <li>・ 構想設計DRと生産工程構想</li> <li>・ 試作DRと工程設計</li> </ul> <p>工程計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ものづくりと原価</li> <li>・ リードタイム</li> </ul> <p>演習 I 演習 II</p> <p>・ 工程の流れ化</p> <p>設備設計(設備レイアウト)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工程設計の考え方</li> </ul> <p>演習 III 加工ラインでの検討</p> <p>演習 IV 組立ラインでの検討</p>	<p>設備計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設備計画の位置づけ</li> <li>・ 投資計画の策定</li> </ul> <p>演習 I</p> <p>治具設計</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本設計の考え方</li> <li>・ 作業性と段取性</li> </ul> <p>演習 II 治具設計</p> <p>設備仕様とは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要資料として準備するもの</li> <li>・ 加工条件等の準備</li> <li>・ 現場の工数低減に繋がる設備</li> </ul> <p>演習 III 設備仕様書の作成</p>	<p>儲かるものづくり工場 生産準備業務の最終章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産準備ステップでの仕上げ</li> <li>・ QCDの達成状況</li> <li>・ 評価の見える化によるロスの顕在化 &amp; 事前管理</li> <li>・ ロスの見える化</li> </ul> <p>演習 I 演習 II</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロス改善</li> <li>・ 原価改善活動</li> </ul> <p>生産技術者への保全への関わり方 設備保全の最低限必要な知識</p> <p>演習 III 模擬ラインでの生産現場実習</p>

## 参加者の声



設備設計において後から仕様変更・追加が多く、後戻りや納期遅れが発生していました。研修では、レイアウト検討（2日目）や新規ラインの考え方（4日目）、自社ラインの考え方（5日目）の単元が非常に参考になりました。また、実習時に他の受講者の方々との意見交換ができたことが良かったです。

当研修に参加して、工程設計において、人やレイアウト等、より広い範囲で捉えることができるようになりました。（S社T様）



保全から生産技術に異動になり、こういったアプローチで改善に取り組めばよいか基本部分が分かりませんでした。

研修テーマの中で、工程計画の考え方、特にタクトタイムを意識した人員配置の手法が参考になりました。研修プログラムでは、レゴブロックを用いて工程改善を実際に体験できたところや、グループワークで他の業種の方々との考え方の違いに気づくことができたところが良かったです。

研修に参加して、設備での人の手待ちについて、それをコストとして捉えることができるようになり、改善の考えが広がったと感じています。（T社O様）

## 詳細

- 日時：2026年5/28・6/25・7/23・8/27・9/17(全5回) 各日10:00～17:00
- 対象：生産技術部門の監督者・中堅社員、工程改善に携わる方

講師：高橋 良彰 (一般社団法人中部産業連盟 委嘱コンサルタント)

1973年に豊田自動織機へ入社。

繊維機械事業部にてNC加工機の導入・立上げ、デミング賞受賞に向けた新技術開発、TQC推進など実践。

PM優秀事業場賞に計画保全部門責任者、海外工場立上げに生産技術リーダーとして参加。本社生産技術部主査、メカトロシステム部部長を経て、生技開発センター長として新技術開発や生技人材育成室を立ち上げる。

2009年イヅミ工業に出向。取締役開発部門長、執行役員工作機械事業部門長を務めた後、現在はコンサルタントとして活躍中。

## 「生産技術マン養成講座」参加要項／参加申込書

参加費  
(1名様)

中産連会員 121,000円(税込) / 中産連会員外 143,000円(税込)

申込方法

下記申込書に必要事項を記入の上、切り取らずにFAX(0120-342-740)にてお申込みいただくか、中産連ホームページ(www.chusanren.or.jp)よりお申込みください。  
※前日・当日のキャンセルはご容赦ください。ご参加者のご都合が悪くなった場合は、下記担当者までご連絡ください。  
※コンサルタント及び教育機関の方のお申込みはお断りしております。ご了承ください。

お支払い

請求書・受講票を開催日2～3週間前に申込責任者宛に発送いたします。

所属部署・役職	氏名(フリガナ)	メールアドレス

会社名			
住所	〒		
申込者 責任者	所属・役職名	氏名	
	E-mail	TEL : FAX :	
会社概要	業種(主要製品名)	資本金	従業員数

今回ご記入いただいた個人情報は、研修等の運営・情報提供(郵便、メール、FAX等)においてのみ使用致します。  
詳細は、HP([http://www.chusanren.or.jp/14privacy/privacy\\_policy.html](http://www.chusanren.or.jp/14privacy/privacy_policy.html))をご覧ください、同意の上、ご協力お願い致します。  
関連情報の提供が不要の場合、下記にレ点をご記入いただき、当連盟までご連絡ください。

セミナー等の情報提供を希望しない

### 【問い合わせ先】

一般社団法人 中部産業連盟 マネジメント開発事業部 藤瀬

〒461-8580 名古屋市東区白壁 3-12-13 TEL: 052-931-9825 FAX: 0120-342-740 Email: society@chusanren.or.jp